



職名	教授
所属	ソーシャルデザイン工学科
フリガナ氏名	ナガヤマ カズヒト 長山和史 knaga@ms.kochi-ct.ac.jp
学位	博士(工学)(九州大学 2001)

## 1. 履歴

学歴	1990.3 東京農工大学大学院工学研究科博士前期課程修了
職歴	1992.4 株式会社クラレ 1994.2 高知高専工業化学科(助手) 1996.4 高知高専物質工学科(助手) 2001.4 高知高専物質工学科(講師) 2005.4 高知高専物質工学科(助教授) 2007.4 高知高専物質工学科(准教授) 2015.4 高知高専物質工学科(教授) 2016.4 高知高専ソーシャルデザイン工学科(教授)

## 2. 講義・委員会等

講義科目	本科: 化学工学II 酵素工学 物理化学・化学工学実験 創造実験 専攻科: 分離操作工学 生物化学工学
学内委員会等	2013.1-2014.3 キャリア支援室長 2014.4-2015.3 国際交流室長 2016.4-2018.3 教務主事補佐 2018.4- 広報戦略室長

## 3. 社会的貢献 役員等

高知化学会教育部会幹事

## 4. 研究活動

専門分野	化学工学
所属学会	化学工学会
研究テーマ	1) 気相媒体下における酵素反応に関する研究 2) 酵素の分離・精製に関する研究 3) 食品類の特性に関する研究
主要論文・著書等	1) 下元勇人, 長山和史, 流通気相型バイオリアクターに用いる固定化アルコール脱水素酵素の調製条件, 化学工学論文集, <b>42</b> , 60-62 (2016). 2) Misaki Mizobuchi and Kazuhito Nagayama, Reduced pressure gas phase bioreactor as a tool for stereoselective reduction catalyzed by alcohol dehydrogenase from <i>Parvibaculum lavamentivorans</i> , <i>Biochem. Eng. J.</i> , <b>93</b> , 11-16 (2015). 3) 溝渕美沙希, 長山和史, 減圧環境下における固定化酵素反応, 第16回化学工学会学生発表会(堺大会)(大阪), 要旨集 M117 (2014). 4) 長山和史, 栗尾賢一郎, 森田恭平, 気相型バイオリアクターにおけるポリビニルアルコール含有固定化アルコール脱水素酵素の反応特性, 化学工学論文集, <b>39</b> , 368-371 (2013). 5) 濱田政紘, 長山和史, 気相媒体下における固定化ケトン還元酵素による連続エナンチオ選択的反応, 化学工学論文集, <b>38</b> , 284-287 (2012).
研究プロジェクト・外部資金等	